

金沢 ショート ステイ ニュース 2026 春

こんにちは！

金沢ショートステイセンターで

長い冬が終わり春がやってきま

花粉症の方にはつらい時期です。

花粉症は一八一九年にイギリスで初めて医学的に報告され、日本では一九六〇年代にスギ花粉症として認知され始めた比較的新しい病気です。

世界における花粉症の始まり

花粉症は一八一九年、イギリスの医師ジョン・ボストックによつ、自身の症状を「枯草熱」として報告したことが始まりです。当初は夏に干し草を扱う際に発症する症状として知られ、目のかゆみや鼻炎、目のかゆみや鼻炎、胸の苦し

さが記録されました。1873年には医師ブラックリーが、イネ科植物の花粉が原因であることを科学的に証明しました。古代ギリシャやローマ、中国、エジプトの文献にも春先に喘息や鼻炎のような症状の記録はありますが、花粉が原因とは認識されていませんでした。

日本における花粉症の歴史

日本では、平安時代や江戸時代の文献にくしゃみや鼻水の記述はあるものの、現代のような大規模な流行は確認されていません。戦後の高度成長期に政府主導でスギの人工林が植えられ、一九五〇〜一九六〇年代に植林が盛んになったことが、後の花粉症増加の



日本人にとって「さくら」とは？ 歴史・雑学から関係性を深掘り！

長くても二週間程度しか満開にならない「桜」ですが、春が近づくとニュースでは開花予想や満開時期の予想が、歌番組では桜をテーマにした歌が流れ、街中に桜をモチーフにしたアクセサリーや食べ物が増えます。

桜が満開になると日本人の多くが桜の名所へ花見に訪れるため、花見は日本人の年中行事と言っても過言ではありません。

一体なぜ、日本人はここまで桜が好きなのでしょうか。

日本人と桜の歴史をベースに、日本人が桜を好きな理由・日本人と桜の関係を紐解いていきたいと思います。

日本人が桜を好きな二つの理由

結論から先にお伝えすると、日本人が桜を好きな理由は二つあると考えられています。

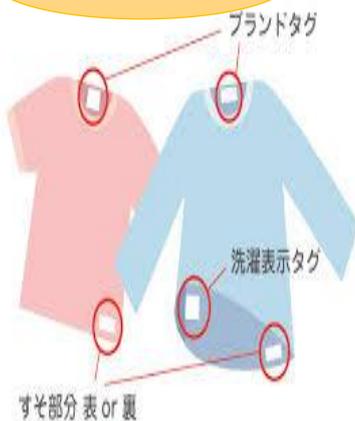
一つ目の理由は、桜は春の到来を象徴する花であること。

四季がはっきりしている日本では、寒さが厳しい「冬」が終わり、年度が変わって様々な物事が新たなスタートを迎える「春」は心躍る季節です。桜が満開になると、そんな「心躍る季節」の訪れを実感できることが、日本人が桜を好きな理由のひとつです。二つ目の理由は、「儚く美しい花」であること。

何ヶ月も前から、桜が満開になる時期を心待ちにしていたにも関わらず、長くても二週間程度で桜は散ってしまいます。

昔から日本人は「生命の儚さ」に美学を感じており、満開の桜の美しさが短期間で散って終わる「儚い花」であることも、桜が好きな理由のひとつだと考えられています。

名前記載箇所



金沢ショートステイセンター
横浜市金沢区能見台東2-2
☎045-790-1620